

平成22年度の教職員部会に関する報告

1. 移行学年は2年間（第1学年は1年間）、同じ副教材を使用して学習することができた。
2. 評価評定に関する調整を進めるため、評価時期に教職員を対象のアンケートを実施し、結果を分析、確認を行った。
3. 教務や生徒指導の担当者会議を実施し、新校発足に向けて見通しを立てた（1月28日）。
4. 評価評定のスムーズな統合のため、学校施設などの制約のなかできる範囲で擦り合わせを進めた。
5. 第2学年エアドゥの航空教室を両校で実施した（2月9日）。
6. 第1学年の学年協議会（生徒の自治活動）を実施するため、両校職員が会議を持ちながら進めた（2月10日）。
7. 生徒会の交流を行いながら、新しい学校のきまりの見直しや、生徒の交流を随時進めてきた。
8. 新入学説明会資料を両校の教務担当者と協議し、翔陽中学校用として刷新した（2月14日）。
9. 第2学年修学旅行に関する検討を随時進めている。
10. 第2学年は修学旅行に向けた生徒の交流を実施した（2月16日）。
11. 第1学年の学年協議会（生徒の自治活動）を実施する（3月3日）。
12. 翔陽中学校で用いるための「評価評定ガイドライン」の策定にあたり、両校で教職員対象のアンケートを実施した。